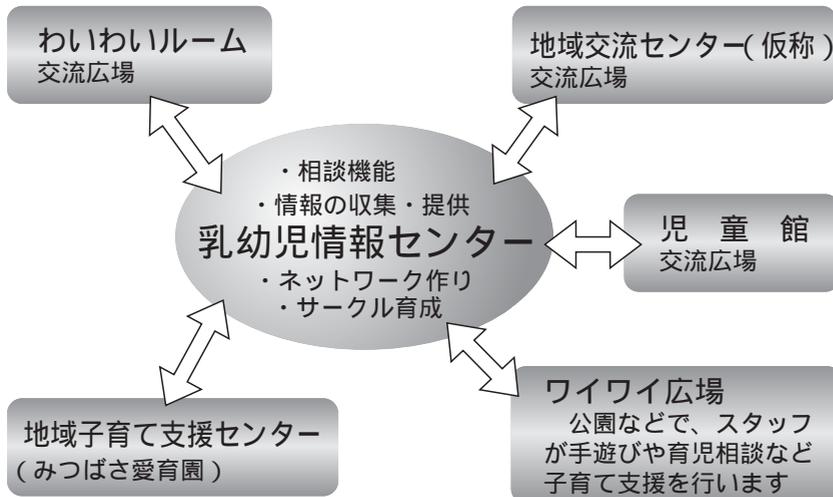


乳幼児情報センターを核とした子育て支援のイメージ



業務を行っています。さらに、平成13年7月には乳幼児情報センターを設置し、親子交流の場や育児に関する相談などを積極的に行っていました。利用者からはスタッフやほかの利用者から気軽に話ができる「孤独から解放される」「育児に行き詰まったときにアドバイザーが受けられる」など、喜びの声が寄せられています。

ます。一方家の近くに気軽に利用できる乳幼児専用の施設が欲しい「氾濫する情報から自分たちに合った情報を一緒に探してくれるスタッフがいて欲しい」などの要望もあげられています。

●子育て支援を拡充

これまでの取り組みを生かし、次代を担う大切な子ども達を育てる親が孤立しないような環境づくりを一層進めるため、子育て支援対策プロジェクトチームを設置しました。今後は、これまでに親子交流の場として利用されてきた乳幼児情報センターを情報の収集・提供「相談体制の充実」「関係機関とのネットワーク化」「子育てサークルなどへの支援」にも役立て、今まで以上に子育て支援の中核的な施設として充実させていきます。さらに、子育てを応援するスタッフを配置した親子交流の場を増やして、乳幼児を遊ばせながら身近なところで情報交換ができる仕組みを整えます。また、地域では、市が行う子育て支援のほかに民間保育園・幼稚園の園庭開放、子育てサークルや自治会などが行う施設開放など、さまざまな子育て

ワイワイ広場参加者の子育て支援に関する声

ワイワイ広場のことは、乳幼児情報センターで知りました。広報紙に子育てのワンポイントアドバイスがあるといいと思います。子どもが生まれたばかりのころは、本や新聞を読んで情報を得ていました。引越してきたばかりのころは周りのことも分からず、家に閉じこもってばかりで、辛いことがあると子どもに当たってしまったことがありました。出産前は子どもが苦手で、自分が子育てをできるのか、とても心配でした。近所の子どもがいる人に声をかけるようにしています。日光浴にもなるし、周りの人たちとおしゃべりできるのがいいですね。公園などに来ると情報交換ができていいですね。



子どもがいると、子どもがきっかけとなって初対面の人でも声をかけられます。子どもより自分が楽しんでしまいます。

での支援をしています。

●今年度の新規事業

市では、親子交流事業を一層充実させるため、新たに「地域交流センター(仮称)」の設置や、中央児童館の一部を整備し、「親子交流スペース」として気軽に利用できる「場」をつくりまします。また、出産後間もない母親が安心して育児ができるよう、家事援助や子育てのアドバイスを行う「産後ヘルパー派遣事業」などを

実施します。今後も、次世代を担う子どもたちを育てる親が安心して子育てできるように、子育て支援に取り組みます。

よりよい子育て支援のため、皆さんの「意見をお寄せください。」

問合せ

子育て支援対策プロジェクトチームへ内線1612

kosodate@city.sayamasaitema.jp

今年度に取り組む主な子育て支援事業

今年度新たに取り組む事業 内容を拡充する事業

交流

「地域交流センター(仮称)」を設置します
未就学児が増加傾向にある新狭山地区周辺に、乳幼児とその保護者を対象とした「地域交流センター(仮称)」を秋を目途に借り上げ方式で設置します。地域交流センターは、乳幼児を安心して遊ばせることができるほか、利用者同士の交流や仲間づくり、保育士などのスタッフから子育てのアドバイスも受けられます。
問合せ乳幼児情報センターへ☎958 1155

中央児童館に「親子交流スペース」を設置します
プラネタリウム館1階部分に、乳幼児と保護者を対象とした「親子交流スペース」を10月を目途に設置します。ここでは、乳幼児を安心して遊ばせることができるほか、利用者同士の交流や仲間づくり、保育士などのスタッフから子育てのアドバイスも受けられます。
問合せ中央児童館へ☎953 0208

富士見学童保育室内・入間学童保育室内に「わいわいルーム」を開設しました
「わいわいルーム」は、身近な地域で親子がふれあい、また、利用者同士の交流や仲間づくりができる場所です。学童保育室の空き時間を利用しているため、利用時間や期間が限られますが、保育士などのスタッフから子育てのアドバイスも受けられます。6月9日から、富士見学童保育室にも「わいわいルーム」を開設しました。開設日月～金曜日、10時～12時(祝日、年末年始、春・夏・冬休み期間・開校記念日・臨時休校などを除く) 場所 入間学童保育室内(0～2歳) 富士見学童保育室内(0～3歳) 問合せ乳幼児情報センターへ☎958 1155

医療費

乳幼児医療費支給制度の
通院部分の対象年齢を拡大します
現行の対象範囲(通院は4歳未満、入院は小学校就学前まで)を、平成15年8月診療分から通院も小学校就学前まで拡大します。この拡大部分は、一医療機関につき、同一月、1千円の自己負担金が生じます(薬局分を除く) 対象者には、7月に通知します。
問合せ福祉課へ内線1518

事業に関する総合的な問合せ
子育て支援対策プロジェクトチームへ内線1612

サポート

7月から産後ヘルパー派遣事業を始めます
出産後まもない母親の育児不安の解消や、家事や育児が困難な核家族の保護者にヘルパー(サービス提供者)を派遣し、家庭を支えます。
内容家事援助、保護者の指示による育児の援助など
対象出産後または退院後1か月以内の方 回数1日1回、最大10日間(多胎の場合は25日間) 利用時間7時～19時のうち1～3時間 費用初めの1時間700円、以後30分ごとに350円加算。交通費は実費負担 事業受託者(財)狭山ささえあい福祉公社 問合せ(財)狭山ささえあい福祉公社へ☎956 7665

ファミリー・サポート・センターの対象年齢を4か月から12歳までに拡大しました
ファミリー・サポート・センターは、育児の援助を行う「預かる会員」と、育児の援助を受けたい「預ける会員」相互の援助活動を基本に、地域で子育てを支えあう活動です。
問合せさやまファミリー・サポート・センターへ☎956 7667

保育

私立幼稚園での預かり保育を実施しています
幼稚園の教育時間とは別に、保護者が働いていたり、病気などにより、保育に欠ける在園児を幼稚園の教育時間の前後や夏休みなどの長期休業期に同じ幼稚園の中で、児童を保育する事業で、現在、狭山富士見台幼稚園、第二狭山台みどり幼稚園の2園で実施しています。

保育所の整備を促進します
保育所待機児童対策として、民間保育所の設置を促進します。
平成16年度開設予定(仮称)第3みつばさ保育園 定員90名

すべての公立保育所で
12時間保育(延長)を実施しています
公立保育所5か所で実施していた12時間保育(7時～19時)を4月から全9か所で実施しています。

学童保育室を整備します
柏原・奥富小学校区に学童保育室を整備します。

問合せいづれも児童福祉課へ内線1532